

宇都宮観光コンベンション協会 中期経営計画評価表（平成29年度実績）

平成30年4月1日現在

I 組織の概要

1. 基礎情報

所在地	宇都宮市中央3丁目1番4号		設立年月	平成12年4月1日	
市所管課	経済部 観光交流課		代表者	会長 関口 快流	
ホームページアドレス	http://www.utsunomiya-cvb.org				
基本財産（資本金）	—		主な出資者	出資額	出資割合
	—		—	—	—
	—		—	—	—
市出資額	—		—	—	—
市出資割合	—		—	—	—
設立目的等	宇都宮市内に有する自然環境や文化的・経済的特性を活かして、観光客、コンベンションの誘致を行うことによって、観光、コンベンションの振興を図り、地域の活性化、文化の向上に資する。				
主な事業	1 誘致宣伝事業 2 観光推進，観光情報宣伝事業 3 コンベンション推進事業				
公益目的事業比率 （公益法人のみ）	—				

2. 組織・人員情報

役職員数	役員				職員					
			うち市OB		正規職員等			嘱託・臨時職員等		
			理事との兼務							うち市OB
常勤	理事	0	0	正規職員	4	0	嘱託職員	7	0	
	監事	0	0	再雇用職員 （フルタイム）	0	0	再雇用職員 （短時間）	0	0	
非常勤	理事	21	1	派遣等職員	1	0	臨時職員等 （アルバイト等含む）	0	0	
	監事	2	0	市以外	1	0				
計		23	1	計	7	0	計	7	0	
役員の平均年齢（歳）		—		役員の平均年収（千円）		—		情報公開制度の有無		×
職員の平均年齢（歳）		51.8		職員の平均年収（千円）		5,276		個人情報保護体制の有無		○

3. 財務状況

単位（千円）

【貸借対照表】	27年度決算	28年度決算	29年度決算	備考
資産	26,926	28,503	20,726	
負債	0	0	0	
（うち損失補償等額）	0	0	0	
純資産	26,926	28,503	20,726	
（うち利益剰余金）	0	0	0	

※一般財団等は、純資産を正味財産合計、利益剰余金を一般正味財産として読み替えています。

【損益計算書】	27年度決算	28年度決算	29年度決算	備考
総収入	56,529	63,546	80,698	
（うち市補助金等）	47,597	55,077	62,889	
（うち市委託料等）	0	0	0	
経常損益	0	0	0	
当期損益	0	0	0	

※一般財団等は、損益計算書を正味財産増減計算書、経常損益を当期経常増減額、当期損益を当期一般正味財産増減額として読み替えています。

【宇都宮観光コンベンション協会】

Ⅱ 各項目の取組状況

1. 事業の充実・重点化

No	取組項目	目標	基準値	実績値			
			H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	
1	餃子・カクテル・ジャズの街としてのブランド強化による誘客促進	入込客数15,000千人	14,169,900人	14,700,500人	14,830,100人	14,989,200人	
2	ホームページによる情報発信力の強化	閲覧回数1,200千回	1,357,000回	903,209回	726,735回	1,354,892回	

2. 地域における公益的活動の推進

No	取組項目	目標	基準値	実績値			
			H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	
3	観光関係団体に対する中間支援機能の強化	年間8件	7件	8件	8件	5件	

3. 健全経営の維持と経営の更なる改善

No	取組項目	目標	基準値	実績値			
			H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	
4 (共)	市からの補助金・負担金の適正化	継続的な見直し	実施	実施	実施	実施	
5	自主財源の確保	自主財源比率34%	32%	38%	29%	33%	

4. 組織・人員体制の強化

No	取組項目	目標	基準値	実績値			
			H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	
6 (共)	常勤職員数の適正化	適正人員の確保	実施	実施	実施	実施	
7	権利確保や収益事業推進に向けた組織のあり方の検討	適切な組織形態の確立	検討	検討	検討	検討	
8	人材育成	ベテラン職員の人脈やノウハウを適切に引き継ぎ、事業を円滑に推進する。	実施	実施	実施	実施	

Ⅲ 総合評価

<p>団体による 自己評価</p>	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「誘致宣伝事業」として、宇都宮市の観光情報を効果的かつ多方面に発信できるよう、フェイスブックを活用した鮮度の高い観光情報発信や、栃木デスティネーションキャンペーン特集ページの設定など協会ホームページの充実に取り組んだ結果、総アクセス数は大幅に増加しており、更に、フィルムコミッション事業においては、宇都宮市が舞台となるロケーションの誘致・支援として、宇都宮市からの支援のもと「ロケーション事業誘致補助金」を創設し、映画「キスできる餃子」の撮影支援に取り組んだほか、宇都宮ぶらり（さくら）マップ英語版の作成・配布を行い、訪日外国人から好評を得た。 ・「観光推進事業」として、茂木町、市貝町、芳賀町と連携し「MottoGPグランプリイベント」などの広域観光事業に取り組んだほか、宇都宮カクテルカーニバルやふるさと宮まつり、宇都宮餃子祭りなどの観光イベントの開催、宇都宮市の観光窓口となるJR宇都宮駅構内観光案内所の管理運営に取り組んだ。 ・「コンベンション推進事業」として、県内大学や医学・医療機関、企業・団体等などのコンベンション主催者へのセールス活動に取り組み、129件のコンベンション支援を行った。 ・その他、協会運営の根幹となる新規会員の加入促進については、平成28年度の新規加入3件から平成29年度は8件となり5件増となった。 ・上記いずれの事業についても、おおむね順調に進行しているが、2020年の「オリンピック・パラリンピック東京大会」2022年の「栃木国体」の開催や、宇都宮市の貴重な観光資源である「大谷」の日本遺産認定など、今後とも、宇都宮市への来訪者の増加が見込まれるため、当協会が、宇都宮市の観光やコンベンション事業の推進軸として機能できるよう、引き続き、会員勧誘活動の強化や自主財源の確保に取り組みながら、事業体制の効率化を進める。 <p>【今後の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国内外旅行者の更なる取り込みに繋がる「観光情報発信の強化」 ・おもてなしの普及啓発などによる「観光客の受入体制の強化」 ・栃木デスティネーションキャンペーンを踏まえた「継続的な観光事業の推進」 ・MICE誘致の強化とリピーター獲得に向けた「コンベンション支援の推進」 ・会員数の拡大や自主財源の確保による「安定した経営基盤の確立」
<p>所管課による 評価</p>	<p>【評価】</p> <p>本市の観光入込客数は、平成29年に過去最高の1,499万人に到達するなど、順調に伸びており、特に、平成29年度は、フェイスブックなどのSNSを活用した情報発信を強化し、若い世代を中心とした多くの人々に本市の様々な観光情報の提供を行い、本市の知名度の向上に寄与している。</p> <p>また、デスティネーションキャンペーンの前年にあたるプレDCにおいては、宇都宮市DC推進委員会事務局として、餃子・ジャズ・カクテルの共通チケットの企画販売や全国のエージェントを対象としたおもてなしツアーの開催など、宇都宮の魅力の発信に取り組んだ。</p> <p>一方で、自主財源の確保については会費収入は横ばいであることから、引き続き、収入源の確保に取り組むとともに、近年、観光を取り巻く環境が大きく変化していることから、それらに対応できる機能の強化や組織のあり方について検討を進める必要がある。</p> <p>今後は、餃子、ジャズ、カクテルなどの本市ならではの観光資源を活用した事業の実施による誘客促進や、地元企業・関係団体等と連携した事業展開による地域経済の振興に取り組む必要がある。</p> <p>【今後の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JRグループのアフターDCや東京オリンピック・パラリンピックなど今後実施される大型イベントを見据えた観光誘客事業やおもてなし事業の検討 ・民間事業者と連携した事業の実施 ・多様な媒体を活用した情報発信の強化 ・自主財源の確保のための取組実施 ・今後の協会の事業推進に向けた機能強化や組織のあり方検討